

石城郡と氏家

発行日、一、十一、廿一日 (毎月三回)
編輯兼發行印刷人 北川 秀雄
發行所 福島縣平町南町七十八番地
廣告料 五號十二字詰 一回 五十錢
一部十錢 一ヶ月二十錢 送料五厘

果然、政友鈴木、佐藤兩候補の挾撃物凄く

苦戦を續ける比佐候補

双相の堅陣に據る氏家石城郡に進出 比佐落すな の聲漸く高まる

政友會内閣の下に突如抜打的に第六十議
會は解散され、来る二月二十日を期し普
選第三次の衆議院議員總選舉施行される
福島縣第三區即石城、双葉、相馬の三郡
よりは民政黨公認として前代議士比佐、
氏家兩氏の出馬せるに對し片や政友會候
補の顔觸れは前代議士木村氏前回の難戰
に鑑み起意なく鈴木辰三郎氏が代り前回
落選の憂目を見たる佐藤庄太郎氏と共に
公認されて出馬中原三頭の鹿を巡る以上
四人の騎士に依り舊正月明けの十二日を
皮切りに或は文書戰に或は言論戰に濱三
郡は擧げて戰塵渦巻く途鹿場裡と化した
而して氏家氏は今回の立候補者中唯一の
双葉郡出身者だけに地盤とする双葉、相
馬の二郡は前回にも増して牢として堅く
なほも石城郡下への進出物凄く今や最も
優勢を傳へらる、一方政友會佐藤氏は多
大の波亂の極政友會公認として双相二郡
を根據となし、前回落戰の同情と加ふる
に石城郡出身たるの強みは石城郡内に於
ける舊政友系の應援あり、前回の得票四
千余票は今回倍加せりとの報傳へられ今

日既に 成算曆々之又當選確實なりと
稱せらる猶又鈴木辰三郎氏は石城郡を主
要地とするの他、相馬郡の松孫氏一派の
の連絡今や確實になりその勢は三郡下に
誇り加へて與黨たるの張込と豊富なる軍
資金と相まつて有利なる條件の下に勝算
確實たるものと報せらる、以上を綜
合したる時今や尤も苦戦を傳へらる、は
獨り比佐候補である、名に負ふ政友會は
前陸軍參與官の肩書によつても安全だ。
「比佐は大丈夫」等々一流のデマを盛んに
飛ばし選舉民を迷はすと共に巧妙なる干
渉壓迫によつて、熾んに氏の地盤を蚕
食して居る、而も軍資金の不足と野黨た
るの不利なる立場は今や絶對樂觀を許さ
ぬ状態となつた殊に戰半にして無自覺な
る一不逞漢により選舉委員長井上前藏相
を失ひたることは勿論民政黨候補者總じ
ての最大不利益ながらことの外比佐氏に
こつてその知遇厚かりしだけ一人の大打
撃たることはまぬかれぬ、然しこれが爲
郡内黨員の結束は殆んど決死的にて連日
連夜東奔西走數ヶ所に於て言論戰を唯一

の武器とし、郡民に叫びかけ惡戰苦鬪血
みごろの戰を續けたる結果、漸く眠れる
郡民間にも「比佐を落すな」「石城せよ
郡百年の大計の爲めにも比佐を四度立た
比佐を落したなら石城の辱」「陸軍參與官
迄にした比佐故何處までも」この聲日増
しに高く、今や自覺ある郡民の同情翁前
として集り稍々立直りたる状態なるも最
後の五分間迄は絶對油斷は出來得ずと黨
員は擧つて形勢挽回に見るも涙ぐましく
決死の努力を續けて居る。

拜啓益々御多祥奉慶賀候陳者今回貴
選舉區より立候補せられ候比佐昌平
君は人物識見經歷に於て衆議院議員
として最適任と存候間何卒同君が當
選の榮を荷ひ候様貴下格別の御援助
を賜はり度偏へに奉願上候不御意
申度如此御座候 敬具
昭和七年二月

- 若槻 禮次郎
- 井上 準之助
- 原 脩次郎
- 田中 隆三
- 町田 忠治
- 小泉 又次郎
- 江木 幸翼
- 櫻内 幸雄
- 永井 柳太郎

立憲民政黨本部
東京芝區新橋田町二十七番地

立候補の挨拶

比佐昌平

- 1 郷黨の諸君に訴ふ
臣節を無視し、國民經濟を破壊せる現内閣は、貴
衆兩院の正論に耐え得ず、卑怯にも議會の言論を
封鎖し、民意反映の府であるべき議會の本分を蹂
躪して突如衆議院の解散を奏請致しました。これ
略のために議會政治を犠牲にする政友會内閣傳統
の暴舉であります。
- 2 金輸出再禁止と大衆生活
政權爭奪の陰謀に出發したる現内閣は組閣劈頭に
於て其陰謀に基く金輸出再禁止を敢てし、國民必
死の努力によりて確立したる金本位制を一擲し下
ル買財閥をして不當の暴利を獲得せしめ、貿易を
逆潮にして國民經濟の基礎を破壊し不自然なる物價
騰貴によりて一般大衆の生活を壓迫致しました。そ
の放漫なる財政政策の結果は經濟困難の深刻化を
見る事が必然であります。
- 3 臣節問題と國民思想
日本帝國臣民の、皇室に對し奉る信念は一あり
て二無き絶對的のものであります。然るに過般の大
逆事件に際し犬養首相並に閣臣等の言動は我建國
の大義を没却し臣節を輕視し内閣自ら國民思想の
惡化を助長するものであります。吾人國民の痛憤
措く能はざる所、斷じて其責任を糾さねばならま
せん。
- 4 重大なる内外の時局
今や帝國の現狀は内に經濟、思想の二大國難あり
外に支那滿蒙の事變と歐米外交の難關に直面し眞
に内外多事であります如何にしてこの難局を打開
すべき乎。即ち外にありては我權益を擁護し國運
の隆興を圖り内にあつては財政經濟の根幹を確立
し農山漁村をはじめ商工都市の堅實なる發展を期
し消費者一般大衆の生活を安定せねばなりません。
- 5 立候補と小生の覺悟
この重大時局に際し立候補致しましたのは我國
情の善化と大衆の生活を安定する爲に平常懷抱す
る政見實行に邁進せんがためであります。不肖微
なりと雖、政治に志して以來この身命は國家に捧
げたものであります。將來共に國家の爲め地方
の爲め献身努力の覺悟であります。願はくは貴下
の御同情により何卒當選の榮を荷はしめられん事
を茲に小生の信念を披瀝してお願する次第である
ます。

平町發給町十七番地責任者秋原義雄

犬養内閣 は遂に宣傳内閣

地方金融問題と 低利資金貸付の正体

（平町工生投） 代表的な商工業の大都市の政友會内閣成立と同時に政友會を見逃されぬ。友會は地方金融の途を擴張する考へ來たれば一村平均の地方産業振興に資せんとの壹千貳百圓の貸付すら困難の下に低利資金貸出難となる譯である、然るに聲明し福島縣には總額に縣全体に振り當てられた六十萬圓を振り當てる故に六十萬圓全額借入れ可能にして以て希望者諸君は借入の如き考へを起して多額の借入申込みの手續を取るべし申込み手續を取らば借入のしと縣下各町村當局に通牒を解いて待ちかねて居るを發せしめたる結果借入れやうな人が若しあつたとして希望者は續々申込み手續をならば實に氣の毒に堪へ取り舊曆昭和六年末を指す次第である。聞く處に依る（の便宜の考へを以て）平町の外に於て申込み直に手續を済し剩餘金額が六十萬圓に達して居る出頭し年末迄に是非貸入るべし傳へらるるが内容が内付け促進陳情とする人々も容れられ本氣に借入運動に生じ小名濱、平の人々が多量に狂奔するのみが實際は額の費用を便へ運動したるに過ぎぬ。地方産業振興と人々の生活の幸福とを以て、大目録の女堂々たる大ハイを然しんがら考ふるに本縣に振り當てられて居る六十萬圓の振當に於ては餘りな情けない内容で果して縣民各位の希望通りであり内容の極めて貧弱なりを迅速に且又多額に借りる宣傳に踊り狂ふことは哀れを實現し得るか否か、はれにも亦慎まねばなるま少しく輕卒のラシラを免れ、要するに政友會内閣の地方れば縣下の町村は約五百は産業振興の名打つた地租ありあるが約五百の町村に移譲とやらも行く術不明に六十萬圓を割當て貸付を平より居る如く今回の低資金均として計算致したる時、借附とやらも結局地方民は平町僅かに壹千貳百圓を欺瞞して一時の氣取に過ぎざる数字となるでは前記の如き前記の如き、殊に福島市郡山市を見たる時思い半に過ぎる、松市と云ふ縣下に於けるものあらん

眞面なる各位より千思萬考の上公私産業振興の爲に不眞面目なる政友會を信ぜず、獨立的公私産業振興の爲努力あらん事を切望する。

黒猫
平町三丁目
横目

杵壽し
平町南町

増田醫院
平町南町

佐藤齒科醫院
平町四丁目

木村外科醫院
平町六丁目

釜屋商店
平町

井上前藏相の遭難に際し 有權者諸君に激す

立憲民政黨 公認候補者 比佐昌平

我國財界の大立物として高橋是清翁と並稱された井上準之助先生は兇漢の毒手に斃れました、國家の爲め誠に痛惜に堪えません。願れば苦節十年の後をうけた民政黨が、國民大衆の協力により財界の根本改革を志してより二年有半、金本位制を樹立し、國際貸借を改善し、國運を打開して是より開花の春を迎えんとする時、政權争奪の陰謀に禍されて吾黨内閣は倒れました。

後繼内閣がその陰謀に基き金輸出再禁止を敢てして、悪むべき一部ドル買財閥に不當利得の機會を與へ國民大衆の生活を壓迫した事は天下周知の事實であります。

古人は武人命を惜み文人錢を愛して國危しと嘆かれましたが今や國政を料理すべき政黨でさへも黨利黨略の外眼申物もなく國民生活を壓迫してまでも一部財閥の利益をはかるとは何事である乎、井上前藏相の遭難はその原因の何たるやを知りませんが、今や我帝國は滿蒙の野に戦つて貴き同胞の血を流して居るのであります。

戰場に於ける軍人は死に臨んで 天皇下の萬歳を唱ふるのに國政の局に當る政治家が金錢の爲に動くまうでは、あゝこの國家を如何せんと呼ばざるを得ません。

わが親愛なる郷黨の有權者諸君、相共に國家の爲に起あはせう

天皇の御名を呼んで滿蒙の野に斃るゝ軍人の精神を以てこの國家と國民の爲に起あはせう

總選舉はこゝ數日の後に迫りました時、前に濱口總裁を喪つた吾黨は今また井上前藏相の死に會し私は憂國の至情敢然として禁する能はず決死の覺悟を以て國家憲政の爲に努力いたしますぞこの哀情を御諒察下さいまして貴下の絶大なる御援助を切望いたします。

平町鍛冶町一七責任者萩原義雄

推薦狀

謹啓今回の總選舉に際し我福島縣第三區としては何としても比佐昌平君を當選せしめねばならぬと信じます

同君は現代政界稀に見る人格者として名聲噴々たる國士的政治家であります、殊に二十年に亘る政治生活に於て衆議院議員に當選すること三回其間或は普選運動の闘士として或は民政黨の幹部として或は陸軍參與官として活躍し政治家としての經驗と功績とを積んだのであります。

客歲中はまた國家興亡の運命にある滿蒙の野を踏査して深き理解と體驗の上より日本國民の生命線である滿蒙問題に對する見識は黨内に重きをなしておるのであります。

特に吾人が同君を敬慕する所以のものは常に政治の外何等の欲望なく

「政治は生命」をモットーとして只管國事に奔走する眞の國士である點であります

吾等同志は去る一月二十五日豫選會に於て滿場一致同君を推薦しその快諾を得ました

由來四回目的選舉は難かしいとされておりました樂觀説に禍されて名士の落選を見るのも多く此頃であります故濱口雄幸先生すら大正六年には此の憂目を見られたのであります

世上「落してならぬ人」は多々ありませうが、政治を自己の生命となしつゝある同君の如きは決して落してはならぬ人であると信じます。

然も同君は今や最も苦戦の立場にありますぜい貴下の御同情に懇へねばなりません。

いろいろ御關係もありませんが此際特別に比佐昌平君の當選相成ますよう御高配を仰ぎ度切にお願申上ます

先は右推薦旁御願まで申上げます敬白

昭和七年一月 立憲民政黨石城部會

平町鍛冶町一七責任者萩原義雄